

相武台自治会だより

第40号
令和5年2月18日発行

相武台神社で「どんど焼き」が行われました

相武台神社恒例の伝統行事である「どんど焼き」は、コロナ禍の影響で、氏子委員による「お焚き上げ」のみが行われておりましたが、1月14日（土）に、3年振りに行われました。

納められていた「松飾りやお札」は一点一点氏子委員により不燃物が選別されて、焼却物を炉の中央に積み上げられ、干支の氏子委員の手で、炉の四方に散酒の儀式を行った後、いよいよ火入れとなりました。

お待ち頂いたお子様からご年配の方々に団子の串刺しが渡されて、年神様の神火で焼いてもらいました。なかなか焼けなかったり、真黒に焼けてしまったりする方もおられました。最後は笑顔でお持ち帰り頂きました。その後も「松飾りやお札」を持った方々が続々と訪れ、伝統行事を楽しんでいました。

また、訪れた方々には「甘酒」と「豚汁」と「ポップコーン」が振る舞われ、あったかくておいしそうに食べていました。最後は消防団員の手で慎重に消火してもらって、正月最後の神事を何事もなく、無事に終了することができました。



地区社協主催の健康講座が開催されました

相武台地区社会福祉協議会は2月5日（日）に相武台老人憩いの家において、60歳以上の方を対象とした健康講座を開催致しました。なお、予定していた「熟年ふれあい演芸大会」については今回も中止と致しました。

今年は『ASABAバンド』による「歌と演奏で心豊かに健康へ」を謳って参加者を募集したところ、関係者を含めて約50名の方々にお集まり頂きました。

ジャズから始まってポップスそして歌謡曲と幅広いレパートリーでの約15曲が、歌と演奏で披露されました。その殆んどは参加者の皆さんがご存じの懐かしいものばかりで、貼り出された歌詞を見ながら口ずさんだり、軽快な曲には手拍子を打つなど、大いに盛り上がり、アツという間に1時間半が過ぎてしまいました。心豊かに健康になって頂けたようで、足取りも軽く参加者の皆さんは笑顔で帰路につかれました。

